



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年2月5日

上場会社名 全国保証株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7164 URL <https://www.zenkoku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川 英治
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 青木 裕一 (TEL) 03-3270-2302
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の業績 (2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	28,513	7.3	21,353	10.2	21,903	7.9	15,186	8.2
2020年3月期第3四半期	26,581	8.2	19,376	6.2	20,292	7.1	14,029	8.6
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期第3四半期	220.76		220.62					
2020年3月期第3四半期	203.97		203.86					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	378,423	153,858	40.6
2020年3月期	372,968	145,049	38.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 153,680百万円 2020年3月期 144,901百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	95.00	95.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	111.00	111.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,580	5.3	36,350	2.7	36,870	3.1	25,480	4.3	370.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期3Q	68,871,790株	2020年3月期	68,871,790株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年3月期3Q	78,382株	2020年3月期	84,268株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期3Q	68,791,026株	2020年3月期3Q	68,782,476株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 株式給付信託（J-E S O P）が保有する当社株式（2021年3月期3Q：77,920株、2020年3月期：83,845株）を自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として国内外経済が厳しい状況にあるなか、企業収益の大幅な減少や、雇用・所得環境の弱い動きが続いており、個人消費においても持ち直しに足踏みがみられるなど、先行きが不透明な状況となりました。

住宅市場につきましては、政府の住宅取得支援策や住宅ローンの低金利環境が継続したものの、新設住宅着工戸数は、前年同期を下回りました。また、住宅ローン市場におきましても、住宅市場同様に弱い動きが続きました。

このような事業環境のもと、当社は、新型コロナウイルスの感染防止対策を講じながら、中期経営計画「Beyond the Border」の基本方針である「事業規模拡大」、「事業領域拡大」ならびに「企業価値向上」の課題を中心に各種施策に取り組んでまいりました。

事業規模拡大におきましては、新規貸出市場および既存貸出市場でのシェア拡大のための施策に取り組みました。新規貸出市場のシェア拡大につきましては、提携金融機関との関係強化や未提携金融機関との新規契約締結に取り組みました。提携金融機関との関係強化につきましては、当社保証の利用率向上のため、当社保証商品についての説明会や勉強会を実施しました。また、住宅ローン獲得に向けた営業推進にお役立ていただくため、例年ご好評いただいておりますキャンペーンを、新築物件の購入および新築費用の資金使途を対象として2020年11月2日から2021年2月26日までの期間にて実施することといたしました。未提携金融機関との新規契約締結につきましては、当第3四半期累計期間において、銀行2行、信用組合1組合、JA4組合、その他1社の合計8機関と契約締結に至りました。また、既存貸出市場のシェア拡大につきましては、保証債務承継やRMBS（住宅ローン担保証券）取得による保証債務残高増加に向けた取り組みを継続しました。

事業領域拡大におきましては、子会社であるあけぼの債権回収株式会社の活用として、金融機関からの債権買取や債権管理回収受託に向けた提案活動を継続しました。また、前事業年度で子会社化した、みのり信用保証株式会社につきましては、新たな事業展開を図るべく金融機関との新規契約締結に向けた提案活動を実施しました。

企業価値向上におきましては、当社の企業情報や事業内容をより一層わかりやすくお伝えするために、ウェブサイトの全面リニューアルを実施しました。

こうした取り組みの結果、営業収益は28,513百万円（前年同期比7.3%増）、営業利益は21,353百万円（前年同期比10.2%増）、経常利益は21,903百万円（前年同期比7.9%増）、四半期純利益は15,186百万円（前年同期比8.2%増）となりました。

なお、当社は信用保証事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①財政の状況

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて1.5%増加し、378,423百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて10.2%減少し、183,567百万円となりました。これは現金及び預金が減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて15.7%増加し、194,856百万円となりました。これは投資有価証券が増加したことなどによります。

負債合計は、前事業年度末に比べて1.5%減少し、224,565百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて12.5%減少し、26,168百万円となりました。これは未払法人税等が減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて0.2%増加し、198,396百万円となりました。これは長期前受収益が増加したことなどによります。

純資産合計は、前事業年度末に比べて6.1%増加し、153,858百万円となりました。これは利益剰余金が増加したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末に比べ4,607百万円減少し、122,138百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は11,139百万円（前年同期は11,695百万円の資金増加）となりました。主な増加要因は税引前四半期純利益21,903百万円等であります。一方、主な減少要因は法人税等の支払額10,114百万円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は9,212百万円（前年同期は347百万円の資金増加）となりました。主な減少要因は定期預金の預入による支出40,550百万円、投資有価証券の取得による支出38,815百万円等であります。一方、主な増加要因は定期預金の払戻による収入66,850百万円等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、減少した資金は6,533百万円（前年同期は5,991百万円の資金減少）となりました。主な減少要因は配当金の支払額6,542百万円等であります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国の経済状況は、引き続き不透明な状況が続くことが予想されるものの、現時点において、当社の営業収益および与信関連費用に大きな影響は及ぼさないと見込んでいることから、2021年3月期の業績予想につきましては、2020年5月8日に公表しました内容から変更はありません。今後も住宅ローン市場の動向や、保証委託者の状況把握に努め、業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	191,595	165,688
求償債権	13,652	16,205
有価証券	5,731	9,523
未収入金	266	120
前払費用	52	40
その他	735	925
貸倒引当金	△7,533	△8,935
流動資産合計	204,500	183,567
固定資産		
有形固定資産		
建物	231	234
減価償却累計額	△149	△157
建物(純額)	81	76
車両運搬具	55	55
減価償却累計額	△34	△39
車両運搬具(純額)	21	16
工具、器具及び備品	445	471
減価償却累計額	△277	△323
工具、器具及び備品(純額)	168	147
土地	4	4
有形固定資産合計	275	245
無形固定資産		
ソフトウェア	609	573
ソフトウェア仮勘定	43	28
その他	3	3
無形固定資産合計	657	605
投資その他の資産		
投資有価証券	138,701	170,602
関係会社株式	2,023	2,023
長期貸付金	2,850	2,526
長期預金	19,000	14,000
長期前払費用	195	176
前払年金費用	19	16
繰延税金資産	4,211	4,078
その他	535	582
投資その他の資産合計	167,535	194,005
固定資産合計	168,468	194,856
資産合計	372,968	378,423

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
前受収益	16,687	16,779
預り金	33	110
未払金	1,156	1,248
未払法人税等	5,665	1,938
賞与引当金	303	154
債務保証損失引当金	5,905	5,900
株主優待引当金	126	—
その他	32	35
流動負債合計	29,910	26,168
固定負債		
長期借入金	30,000	30,000
長期前受収益	167,944	168,323
株式給付引当金	64	73
固定負債合計	198,008	198,396
負債合計	227,919	224,565
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,703	10,703
資本剰余金	637	637
利益剰余金	133,832	142,476
自己株式	△225	△210
株主資本合計	144,948	153,607
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△47	72
評価・換算差額等合計	△47	72
新株予約権	148	178
純資産合計	145,049	153,858
負債純資産合計	372,968	378,423

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
営業収益		
収入保証料	26,470	28,407
その他	111	106
営業収益合計	26,581	28,513
営業費用		
債務保証損失引当金繰入額	2,202	2,241
貸倒引当金繰入額	△19	111
給料手当及び賞与	1,324	1,270
賞与引当金繰入額	151	154
減価償却費	196	213
その他	3,349	3,169
営業費用合計	7,205	7,160
営業利益	19,376	21,353
営業外収益		
受取利息	733	1,046
受取配当金	149	49
その他	35	38
営業外収益合計	919	1,134
営業外費用		
支払利息	—	583
支払手数料	0	0
その他	3	0
営業外費用合計	3	584
経常利益	20,292	21,903
特別損失		
投資有価証券売却損	13	—
投資有価証券評価損	15	—
特別損失合計	29	—
税引前四半期純利益	20,263	21,903
法人税、住民税及び事業税	6,014	6,586
法人税等調整額	218	129
法人税等合計	6,233	6,716
四半期純利益	14,029	15,186

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	20,263	21,903
減価償却費	196	213
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,323	1,402
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△143	△148
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	△163	△6
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△103	△126
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△1	2
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	4	8
受取利息及び受取配当金	△883	△1,095
支払利息	—	583
投資有価証券売却損益 (△は益)	13	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	15	—
求償債権の増減額 (△は増加)	△2,247	△2,552
前受収益の増減額 (△は減少)	351	82
長期前受収益の増減額 (△は減少)	3,438	351
その他の資産・負債の増減額	26	△85
小計	22,091	20,533
利息及び配当金の受取額	909	1,105
利息の支払額	—	△384
法人税等の支払額	△11,304	△10,114
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,695	11,139
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△62,650	△40,550
定期預金の払戻による収入	97,950	66,850
有価証券の取得による支出	△7,000	△7,000
有価証券の売却及び償還による収入	8,600	8,100
有形固定資産の取得による支出	△148	△43
有形固定資産の売却による収入	2	0
無形固定資産の取得による支出	△120	△131
投資有価証券の取得による支出	△34,515	△38,815
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,122	2,003
関係会社株式の取得による支出	△600	—
吸収分割による収入	—	37
貸付けによる支出	△3,292	—
貸付金の回収による収入	—	336
投資活動によるキャッシュ・フロー	347	△9,212
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	8
配当金の支払額	△5,992	△6,542
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,991	△6,533
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,052	△4,607
現金及び現金同等物の期首残高	70,992	126,745
現金及び現金同等物の四半期末残高	77,044	122,138

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。